

番号	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)	年度末(3月末)の状況	【対応】 未着手・継続中or 完了
1	市民生活部	市民生活総合相談センター	特殊詐欺被害防止対策について	電話をかけるなどして、対面することなく金銭させ、指定した預貯金口座への振り込み、その他の方法により金銭等を騙し取る犯罪が、全国的に年々被害が大きくなっている。田瀬地区は高齢者が多いことから被害に遭うことなどを懸念している。 被害防止対策として、どのような対策があるのか、田瀬地区の皆さんで共有できる方法などお知らせいただきたい。	電話等で対面することなく金銭等をだまし取ろうという手口は、その代表的な手口である「オレオレ詐欺」が、今から22年前の平成15年から目立つようになり、翌年に警察庁において「振り込み詐欺」と命名され、その後「預貯金詐欺」「架空料金請求詐欺」「還付金詐欺」など、様々な手口の詐欺に巧妙化・多様化したため、それらを総称する形で「特殊詐欺」という用語が使われるようになった。 近年では「劇場型犯罪」と呼ばれる、複数の人物が役割を分担し、騙す手口も登場したほか、インターネットバンキングを利用し送金を促したり、偽のセキュリティ警告でサポート費用を騙し取るものや、SNSを使った投資詐欺やロマンス詐欺なども登場するほか、海外を拠点にした詐欺グループの存在も明らかになっている。 警察庁が公表する令和7年5月末での全国の特種詐欺の認知件数は、10,905件で前年同期に比べ3,501件増加している。被害額は492億4千万円で前年同期に比べ307億6千万円増加し、過去最高であった前年を大幅に上回っているとのことである。岩手県においても、令和7年6月末での認知件数は65件、被害額3億1千339万円と前年同期と比較してそれぞれ42件、2億6千839万円の増と大幅に増加している。花巻市においては、令和6年は4件、6千900万円の被害であるが、令和7年の被害は6月末で4件、400万円と件数は既に昨年と同じ件数となっており、被害額は少ない状況であるが、7月16日に市内の70代男性が約110万円を騙し取られるSNS型ロマンス詐欺被害が発生した旨、新聞報道がされたところであり、今後、さらなる被害の増加も考えられるところである。 「オレオレ詐欺」による被害が大きな話題となって以来、テレビのニュースや新聞などのメディアで頻繁に報道され、皆さんも相当危機感を持ち、普段から注意されていると思うが、こうして被害が減らず、むしろ増加している状況は、社会情勢や技術の進歩に合わせ、騙す側の手口も巧妙に変化している結果であり、最近では警察官をかたるものや総務省などの官公庁、NTTや電力会社をかたる音声ガイダンスによるもののほか、高額当選をかたるもの、SNS広告からの副業誘導による詐欺などその手口は様々となっており、十分に注意しなければお金を騙し取られかねないような状況となっている。 このような中、今回、被害防止対策を地区で共有できる方法について、どのようなものがあるかとのことだが、特殊詐欺に最も有効な対策は、電話対策となる。特にプラス(+)から始まる国際電話番号には注意が必要であり、簡単な対策として、固定電話とひかり電話で海外との電話が必要な場合、国際電話不取扱受付センターに電話し申請することで、発信・着信を無償で休止できる。なお、最寄りの警察署でもこの申請書は受け取ることができる。最大の防止策は「疑わしき電話には出ない」ということ。在宅中でも留守番電話の設定にするなど知らない番号などに出ないようにする、かけてきた番号が分かる。ナンバーディスプレイや防犯機能付き電話機の導入も大変有効であると考えている。 NTT東日本では契約者が70歳以上である旨または70歳以上の方と同居している旨を申告した場合、ナンバーディスプレイに番号を表示するサービスと、電話番号を非通知でかけてきた相手に通知しでかけなおすよう音声メッセージで応答する「ナンバーリクエスト」というサービスに係る月額利用料と工事費が無償になる。対策の有無に関らずこのような電話に出してしまった場合は、その場での回答などは控え、自ら相手方の電話番号を調べかけなおしたり、家族や警察などに相談してほしい。電話での詐欺ワードとしては、「あなたには犯罪の容疑がかかっている」「未納料金が有る」「誰かに相談すれば守秘義務違反で逮捕する」など様々あるが、手口が巧妙化し、見破るための知識にはアップデートが必要で、心理的影響を与えてくる電話で冷静な判断をするのは困難であるなど、知識や気持ちに左右されない、電話対策が重要となっている。 知識は持っていた方が良いのは言うまでもなく、花巻市防犯協会や花巻警察署、もしくは最寄りの駐在所に防犯教室の開催を依頼することができる。また、岩手県警察で提供する「びかぼメール」は特殊詐欺発生情報や不審者情報などの最新の情報を知らることができ、誰でも無料で登録できる。 市では県内において、特殊詐欺等に繋がる予兆電話などがあった場合は、市のホームページやSNS、コミュニティFM、有線放送を通じ情報提供や注意喚起を行っているほか、広報はなまきの市民生活コーナーにおいて、詐欺に繋がる不審な電話や消費者トラブルについての解説などを行っている。	当日の発言により回答済み	完了
2	市民生活部	市民生活総合相談センター	特殊詐欺被害防止対策について	電話の手続きについて、本人が行うことが難しい場合、手続きの代行をしてもらったり、あるいは、地域ぐるみで防止対策の手続きを行っているところがあるのか、情報があれば教えて欲しい。	NTTのナンバーディスプレイとナンバーリクエストというサービスがあり、ナンバーディスプレイは、かけてきた相手の電話番号が電話に出る前にディスプレイに表示されるサービスであり、ナンバーリクエストは非通知の相手に電話番号を通知しでかけなおすよう自動音声メッセージで伝えるサービスである。ナンバーディスプレイの月額料は440円、基本工事費は2,200円、交換機等工事費は1,100円が70歳以上であるまたは70歳以上の方と同居している契約者は無償となる。また、国際電話取扱受付センターへの手続きはWEB申込書に必要な事項を記入して、インターネットで手続きとなる。手続き方法については、市民生活総合相談センターまたは支所にお問合せいただければと思う。詐欺に係る情報や啓発チラシなども支所にあるので、ご相談いただければと思う。 地区での取り組みについては、本日資料を持ちあわせていないが、自治会等の中に防犯担当の役員のほうがいる。花巻市には防犯協会があり、地区が市防犯協会の支部として入っている。防犯協会では日常的に啓発等を行っており、支部等でも活動していると認識している。	当日の発言により回答済み	完了
3	市民生活部 東和総合支所	市民生活総合相談センター 市民サービス課	特殊詐欺被害防止対策について	役員の方には負担がかかる部分もあるかと思うが、地域単位でも、啓発や相談対応が出来るような、実際の防止策を講じられるような体制について検討の余地はないか。	【市民生活部長】 地区コミュニティの方や防犯協会の方も人手不足であり、地域の方に被害防止対策の仕事をさせていただくのは難しいと思う。 ただ、詐欺被害はやはり増えてきているので、今みんなでも被害防止の対応をすることは重要だという認識を持って、出来ることを考えていきたいと思う。貴重な意見をいただいた。 【東和市民サービス課長】 防犯協会についてお話しする。花巻市防犯協会東和支部では、防犯座談会開催経費の一部を助成している。これは、自治会などで駐在所員の方等を講師として防犯に関する座談会を開催した場合、1回5,000円を助成する事業であり、今年度は20回分を予算措置している。駐在所員からの講話は、高齢者などが特に注意する点など分かりやすく教えてもらえる。今年度は、まだ2団体しか申請されていないのでぜひ地域で活用願いたい。 もう一つ、国際電話利用休止申込書について、警察署や町内駐在所でも受け取れるが、東和総合支所にも申込書を備え付けている。窓口に声をかけていただければお渡しできるのでご利用願いたい。	【生活環境課】 当日の発言により回答済み 【東和総合支所市民サービス課】 花巻市防犯協会東和総支部にて、防犯座談会開催経費の一部を助成しているので活用いただきたい。 国際電話利用休止申込書について、警察署や町内駐在所でも受け取れることを周知済み。	完了
4	市民生活部	市民生活総合相談センター	特殊詐欺被害防止対策について	新聞報道等を見ると、高額な金額がだまし取られている。個人の資産情報が漏れているのではないか。	自身の経験からいっても、タイミングよく、さも本物の会社を装ったメールが送信されてきた事があった。 情報が漏れている可能性もあると思い、疑わしいメールや電話には気を付ける必要があると思う。	当日の発言等により回答済み	完了
5	市民生活部	市民生活総合相談センター	特殊詐欺被害防止対策について	相談を受けた案件であるが、農機具など不用品を回収するために片言の日本語を話す人がトラックで回ってくる。今のところ被害等はないようだが、言語のコミュニケーション不足などでトラブルになりやすく、購入の仕方など、注意喚起をあらためてすべきではないかと思う。	警察で公表している詐欺の種類は多く、多様化・巧妙化してきている。 市でも警察の方から情報をお聞きし、知識を深めていければと思っているが、具体的なことは把握できていない状況である。	当日の発言等により回答済み	完了
6	市民生活部 東和総合支所	生活環境課 市民サービス課	不用品回収業者について	国道283号沿いへ、看板を建て不用品回収品を集積しているところがある。 集められたものには、産業廃棄物が含まれていたり、土壌汚染が心配される。搬入物や処理等について調査できるものなのか。安心してもらうための情報発信も必要ではないか。	不用品回収については、回収品が廃棄物ではないかといった心配もあると思う。しかし、個人の敷地内の中に置いてある物の管理はその土地所有者が行うこととなるし、有価物であるかについての判断も第三者からは非常に難しい。産業廃棄物の担当は岩手県であり、一般廃棄物の担当は花巻市となっている。産業廃棄物について花巻市が指導といった具体的な対策等はできないというのが現状である。 ただし、状況によっては、警察や岩手県、花巻市が一緒になって情報共有しながら対応しているものもある。今後も徹底し気をつけていきたいと思う。 【補足】 有価物取扱いの表示(看板)が設置されているので、集積・一時保管・積替え場所と想定される。したがって、長期的に放置されていたり、回収品の積み方が危険であるなどの情報がない以上、岩手県の担当が調査・確認することは難しい。当該敷地内に対し、市では調査権限は持っていない旨、9月5日発言者に回答した。	【市民生活部】 当日の発言等により回答済み 【東和総合支所市民サービス課】 不用品回収については、回収品が廃棄物ではないかといった心配もあると思う。しかし、個人の敷地内の中に置いてある物の管理はその土地所有者が行うこととなるし、有価物であるかについての判断も第三者からは非常に難しい。産業廃棄物の担当は岩手県であり、一般廃棄物の担当は花巻市となっている。産業廃棄物について花巻市が指導といった具体的な対策等はできないというのが現状である。 ただし、状況によっては、警察や岩手県、花巻市が一緒になって情報共有しながら対応しているものもある。今後も徹底し気をつけていきたいと思う。 有価物取扱いの表示(看板)が設置されているので、集積・一時保管・積替え場所と想定される。したがって、長期的に放置されていたり、回収品の積み方が危険であるなどの情報がない以上、岩手県の担当が調査・確認することは難しい。当該敷地内に対し、市では調査権限は持っていない旨、9月5日発言者に回答済み。	完了
7	生涯学習部	スポーツ振興課	田瀬地区の施設利用について	田瀬地域には、東和B&G海洋センター、釣り公園及びオートキャンプ場などの施設がある。東和B&G海洋センターは、JAPANや大学の合宿など多く利用していたが、今年度の合宿などの利用状況をお伺いしたい。また、合宿などの誘致は行っているのか併せてお伺いしたい。	東和B&G海洋センターについてご説明する。平成5年にB&G財団が建てて、東和町に譲っていただいたものになる。 管理棟、管理事務所、監視室、艇格納庫、男女更衣ロッカー、トイレ等の設備があり、マリナーハウスは、遊びにきていただいた方の休憩スペースとなっている。そのほか、イベント広場があり、会場期間は4月から10月までとなっている。また、艇庫は平成10年にでき、平成30年に合宿ができるような施設に改修した。1階には、艇格納庫、トレーニングスペースがあり、2階には研修室兼宿泊室や会議室兼宿泊室、調理室、シャワー室、浴室を完備している。 競技だけではなく一般の方も参加できるよう、ウォータースポーツフェスティバル無料体験やEポートレースを実施している。 合宿の利用状況は令和7年7月末現在6件で77名の方に利用していただいている。4月の末から5月の初めにかけて、日本代表の方1名とスタッフの方1名の計2名で利用されたと伺っている。山田高校と宮古高校の高校生にも合宿に来ていただいている。また、ローイング日本代表合宿ということで、7月22日から8月8日までと、8月22日から9月4日にかけて行う予定である。先日合宿にお邪魔して、歓迎のご挨拶と差し入れを市の方で行った。昨日から黒沢尻工業とむつ工業高校の合同合宿を実施している。水不足ということで、御所ダムで練習できないということで、田瀬で練習したいというお話をいただいている。 合宿の他に、イベント・団体利用の状況は、令和7年7月末現在6件474名の方が一斉清掃や、先ほど申し上げましたウォータースポーツフェスティバルに参加していただいている。今後の体験等4件の予定があり、県高校新人大会ローリング競技で150名ほどいらっしゃる予定である。 合宿などの誘致については、ローイング日本代表クルー・ジャパンと呼ばれるが、クルー・ジャパンの合宿は平成12年のシドニーオリンピック代表から田瀬湖合宿を行っており、昨年度はパリオリンピックと重なり合宿はなかったものの、毎年、市から日本ローイング協会へ合宿実施を打診するなど積極的に誘致している。田瀬湖ポート場はコースがいいということで、国内の他のJOC認定施設と比較して山に囲まれて、湖面で風が少ないこと、B級2,000mの公認コースが整備されているということで、日本代表の選手やコーチ陣から評価が高く、田瀬湖で合宿したいという声をいただいている状況である。この間お邪魔した際も、選手の方からありがたいお言葉をいただいた。市として日本代表の合宿地として選ばれていることはとても誇らしいことであり、引き続き合宿誘致をしていきたいと考えている。 ポート部のある県内高校は練習で普段から利用していただいております。基本的には誘致というよりは、高校側からの申し込みにより受け入れている。また大学については、令和元年度までは東京外国語大学など関東圏からの合宿を毎年受け入れてきたが、コロナ禍の期間は申し込みが一旦中止となり、コロナ禍後は令和4年度と令和6年度に大学側からの申し込みにより合宿を受け入れている。 利用者数は先ほどもお話ししましたように、コロナ禍は利用者が減ったが、回復傾向である。	合宿の利用状況は令和7年7月末現在6件で77名の方に利用していただいている。4月の末から5月の初めにかけて、日本代表の方1名とスタッフの方1名の計2名が利用された。山田高校と宮古高校の高校生にも合宿に来ていただいている。また、ローイング日本代表合宿ということで、7月22日から9月5日にかけて行った。また、黒沢尻工業とむつ工業高校の合同合宿も実施した。 合宿の他に、イベント・団体利用の状況は、令和7年7月末現在6件474名の方が一斉清掃や、先ほど申し上げましたウォータースポーツフェスティバルに参加していただいている。 県高校新人大会ローリング競技で150名ほど利用いただいた。 合宿などの誘致について、ローイング日本代表の合宿は平成12年のシドニーオリンピック代表から田瀬湖合宿を行っており、毎年、市から日本ローイング協会へ合宿実施を打診するなど積極的に誘致しており、引き続き合宿誘致をしていきたい。 ポート部のある県内高校は練習で普段から利用していただいております。誘致というよりは、高校側からの申し込みにより受け入れている。また大学については、令和元年度までは東京外国語大学など関東圏からの合宿を毎年受け入れてきたが、コロナ禍の期間は申し込みが一旦中止となり、コロナ禍後は令和4年度と令和6年度に大学側からの申し込みにより合宿を受け入れている。	完了

番号	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)	年度末(3月末)の状況	【対応】 未着手・継続中or 完了
8	東和総合支所	地域振興課	田瀬地区の施設利用について	釣り公園及びオートキャンプ場は、新しく指定管理者に引き継がれ、地域としても今後の施設利用者の増客が期待されているところである。 また、田瀬湖振興公社は、長年にわたり施設運営をしていたことに感謝申し上げるとともに、これもとえに花巻市のご理解とご支援のことと地域を代表してお礼申し上げる。 そこで、釣り公園及びオートキャンプ場の利用者数の増客について、花巻市は新しい指定管理者とどのように共同し誘客していくのか伺う。	釣り公園及びオートキャンプ場の2つの施設については、これまで地元田瀬地域の田瀬湖振興公社が指定管理者として管理していたが、5年毎の指定管理の更新時期である昨年中に、田瀬湖振興公社から、構成員の高齢化などの理由により更新できないとの申し出があり、指定管理者候補者選定委員会及び市議会3月定例会での指定管理に関する議決を経て、今年7月から猿ヶ石川漁業協同組合に変更となった。 釣り公園及びオートキャンプ場の利用状況は、令和元年度は、釣り公園が3,732人、オートキャンプ場が632人の利用があったが、コロナ禍を経て、令和6年度には、釣り公園が960人、オートキャンプ場は392人と利用者が半減している状況であり、施設の活用策の検討については、質問とおり、急務である。 猿ヶ石川漁業協同組合が指定管理業務を開始してから1か月ほど経過したが、まずは指定管理業務に慣れ、安定的に業務を進めてほしいと考えており、指定管理業務が安定化した後に、漁業協同組合の特色を生かした自主事業を検討、導入されていくものと思っている。 現時点では、紹介できる段階まで検討が進んでいないと聞いているので、自主事業の内容等が確定したら、改めてお知らせしたいと思っている。 東和総合支所としての田瀬湖釣り公園等の周辺環境整備の取り組みについて、説明する。1点目は、両施設に共通して、田瀬湖の景観を一望できるよう樹木の伐採を進めている。さらに釣り公園においては、現在利用している下方に活用されていない池があることから、こちらもできる限りきれいに伐採し、活用を考えていきたいと思っている。2点目は、釣り公園の水質について改善を図るため、水の流入口に堆積した土砂を撤去することなどにより、池の周りにおいても、魚が見える環境づくりの実施を検討している。	釣り公園及びオートキャンプ場の2つの施設については、これまで地元田瀬地域の田瀬湖振興公社が指定管理者として管理していたが、5年毎の指定管理の更新時期である昨年中に、田瀬湖振興公社から、構成員の高齢化などの理由により更新できないとの申し出があり、指定管理者候補者選定委員会及び市議会3月定例会での指定管理に関する議決を経て、今年7月から猿ヶ石川漁業協同組合に変更となった。 釣り公園及びオートキャンプ場の利用状況は、令和元年度は、釣り公園が3,732人、オートキャンプ場が632人の利用があったが、コロナ禍を経て、令和6年度には、釣り公園が960人、オートキャンプ場は392人と利用者が半減している状況であり、施設の活用策の検討については、質問とおり、急務である。 現時点では、紹介できる段階まで検討が進んでいないと聞いているので、自主事業の内容等が確定したら、改めてお知らせする。 東和総合支所としての田瀬湖釣り公園等の周辺環境整備の取り組みについて、説明する。1点目は、両施設に共通して、田瀬湖の景観を一望できるよう樹木の伐採を進めている。さらに釣り公園においては、現在利用している下方に活用されていない池があることから、こちらもできる限りきれいに伐採し、活用を考えていきたいと思っている。2点目は、釣り公園の水質について改善を図るため、水の流入口に堆積した土砂を撤去することなどにより、池の周りにおいても、魚が見える環境づくりの実施を検討している。	完了
9	生涯学習部	スポーツ振興課	田瀬地区の施設利用について	B&Gの評価が高いのは市や関係者の努力であると思う。 市内の高校や大学にポート部を創っていただくということは考えているか。	東和高校にはポート部があったが、今は市内にはない。 子どもが減っている中で、いろいろなクラブで人が足りず、学校合同で活動をしている状況である。 まずは指導者がいらずしやらないと、市の主導では難しいと思われる。	子どもが減っている中で、いろいろなクラブで人が足りず、学校合同で活動をしている状況であり、指導者の確保も難しい状況から、市の主導では難しいと思われる。	完了
10	生涯学習部	スポーツ振興課	田瀬地区の施設利用について	B&Gの合宿所やトレーニングルームはポート部のみの利用か、一般の方が利用できるのか。今後市はB&Gどのように活用しようと考えているのか。 川崎市では、小学5年生が施設でキャンプするという取り組みをしている。花巻市でもそのようなことは考えられないか。 合宿場はあまり使われていないように思うが、これで満足しているのか。	【スポーツ振興課長】 B&Gの位置づけとして、合宿時の宿泊やトレーニング用として整備したものであり、合宿の方々が最優先で使用するものである。合宿について、首都圏にアピールしているが、大学では合宿時期が一緒になることがあるので、バランスを取りながら施設を最大限活用できるようなたちで進めている。 施設として余裕があれば、合宿を増やしてくことや、PRしていくことも今後検討させていただきたいが、基本的には現状を維持する方向である。 トレーニングルームを一般の方が使えないかというご意見だが、一般の方が使えないということではなく、合宿の方が優先ということである。 【生涯学習部長】 艇庫に泊まれるようにした簡易的な合宿所であるため、立派な旅館とかホテルとは違う。 そもそも合宿施設を大きくするという考えはなく、元々あった艇庫に利用された方が泊まれるよう改修した。合宿以外に宿泊利用していただくという想定はしていない。 合宿以外であれば、先ほどご説明したが、イベント・団体利用で小学生も参加している。	B&Gの位置づけとして、合宿時の宿泊やトレーニング用として整備したものであり、合宿以外に宿泊利用していただくという想定はしていない。合宿について、施設を最大限活用できるようなたちを検討していくが、基本的には現状を維持する方向である。 合宿以外では、イベント・団体利用で小学生も施設を利用している。	完了
11	東和総合支所	地域振興課	田瀬地区の施設利用について	B&Gは元々、小学生にカヌー体験をしてもらう場所であったはずだが、地元にメリットはあるのか。	先日、湖水まつりが土日に開催されたが、土曜日は田瀬湖でウオータースポーツ無料体験を実施した。田瀬ダム管理支所長も非常に積極的で、独自に企画されており、また一緒にやっていきましようというお話があった。 川崎市との交流事業で、小学5年生から中学2年生の子供達24名が先日、2泊3日でカヌー体験していった。東和作戦会議などの協力も得て、3日間、東和町内、地元の体験をしていた。川崎市の他の交流自治体でも行われており、4コースほどある中で東和町が人気とのことであり、楽しかったので2回目の参加という中学生がいた。地域振興課では職員が3日間つきっきりで結構大変な事業ではあるが、やはり継続した方がいいと思っている。	湖水まつりが土日に開催された際、土曜日は田瀬湖でウオータースポーツ無料体験を実施したところである。田瀬ダム管理支所長も非常に積極的で、独自に企画されており、また一緒にやっていきましようという話があった。 川崎市との交流事業で、小学5年生から中学2年生の子供達24名が2泊3日で東和町を訪れカヌー体験を行った。東和作戦会議などの協力も得て、3日間、東和町内、地元の体験をしていた。川崎市との交流事業は他の交流自治体でも行われているが、4コースほどある中で東和町が人気とのことであり、楽しかったのと2回目の参加という中学生がいた。地域振興課では職員が3日間つきっきりで結構大変な事業ではあるが、やはり継続した方がいいと思っている。	完了
12	生涯学習部 東和総合支所	スポーツ振興課 地域振興課	田瀬地区の施設利用について	B&Gの艇庫があんなに立派になっていると知らなかった。地区の皆知らないと思う。田瀬湖遊覧などの地区行事を行う際、艇庫の見学を入れて、このような立派な施設があるのを知っていただくことはできないかと思った。 話題提供だが、オートキャンプ場に東京から来ていた家族が盆踊りの抽選会に参加し、喜んで帰った。	(当日コメントなし)	市ホームページや広報等を通じて、市民周知・利用促進に努めていく。	完了
13	東和総合支所	市民サービス課	公衆衛生組合連合会の補助事業について	東和地域の公衆衛生組合の補助についてだが、クマ対策を考えると、コンポストの補助は必要なのか疑問に思う。 また、蜂の巣駆除は個人の方を対象に補助している。以前ごみ集積所に巣ができたが、収集業者がスプレーをかけて個人的に駆除をしたようであった。ごみ集積所を管理している自治会の方まで補助を適用拡大できないか検討いただきたい。	東和地域公衆衛生組合連合会の事務局である東和支所市民サービス課からご説明する。 コンポストの補助は、補助金上限を決めて助成を行ってきたが、クマの出没が増えていること考えると、コンポストの設置が危ないのではないかという話が出ている。今後の役員会でこの話題を提供し、検討していく。 蜂の巣の駆除費用補助は、要綱の中で会費の納入を要件としており、基本的に個人の方を対象としている。集積所は自治会の管理という認識であるため、交付対象とはしていない。自治会まで補助の適用を拡大させるかは、今後の役員会等で検討させていただきたいと思う。 【10月24日 東和地域公衆衛生組合連合会第3回理事会開催】 →東和地域内でのクマ出沒件数が大幅に増加していることを考慮し、今年度のコンポスト購入助成事業については、本日より事業を停止することで了承。	蜂の巣の駆除費用補助については、集積所は自治会の管理という認識であるため交付対象とはしていない。 令和7年10月24日よりコンポスト購入助成事業の申請受付を停止し、東和地域内全戸配布の「東和地域支援通信」にて周知済み。	完了
14	東和総合支所	地域振興課	大阪の化粧品会社が取得した土地について	西武武蔵が持っていた土地を、大阪の会社が取得したという噂を聞いたが、実際に取得しているのか。	令和4年度に田瀬地区の市政懇談会で質問が出たが、大阪の化粧品会社が取得した。 市では、田瀬湖の花火大会開催時、花火会場に移動するために、その土地の通過が必要で、市道関係でもそちらの土地に関わりがあるので、取得した会社に連絡し、今までどおり通れるようになっている。 面積も広いので、太陽光発電など大規模開発をする考えがないか、年に3〜4回、定期的に連絡を取り確認している。現時点では、森林組合に委託してなめこや栗の栽培を行ったりしているとのことである。 系列会社のレストランで収穫した栗をスイーツとして提供していると伺っている。	令和4年度に田瀬地区の市政懇談会で質問が出たが、大阪の化粧品会社が取得した。 市では、田瀬湖の花火大会開催時、花火会場に移動するために、その土地の通過が必要で、市道関係でもそちらの土地に関わりがあるので、取得した会社に連絡し、今までどおり通れるようになっている。 面積も広いので、太陽光発電など大規模開発をする考えがないか、年に3〜4回、定期的に連絡を取り確認している。現時点では、森林組合に委託してなめこや栗の栽培を行ったりしているとのことである。	完了